

<ペルセウス座流星群>

8月中旬、毎年たくさんの流れ星を見せてくれるのが「ペルセウス座流星群」です。「しぶんぎ座流星群」や「ふたご座流星群」と共に三大流星群の一つとしても有名です。

2020年のペルセウス座流星群は、8月12日から13日にかけての夜が流れ星を多くみられる予想です。12日の午後10時が流星群のピークですので、12日の夜から13日の明け方にかけて流れ星が多く出現しそうです。



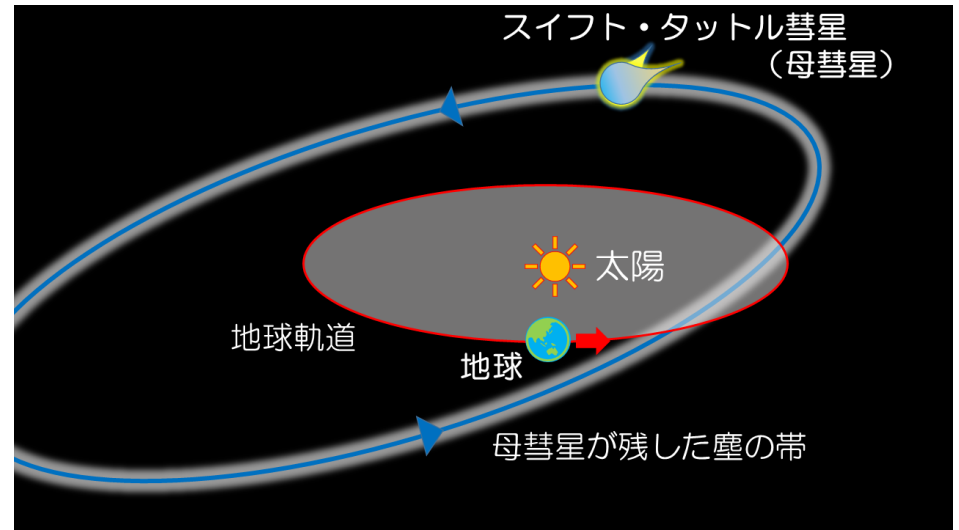
<12日の夜半過ぎに星空を見上げてみよう！>

上図は13日午前0時ごろの星空です。“北東”にペルセウス座が昇ってきますね。カシオペア座の「W（ダブルユー）」の星並びを目印に北東方向を見上げていると流れ星を見つけやすいと思います。

2020年は夜半過ぎから月灯かりの影響もあり観察条件が良いのは短い時間です。チャンスを狙って、夏の夜空に流れ星を見つけに出かけてみませんか！？
レッツ・スターウォッチング♪

<流れ星って…！？>

流れ星は、宇宙にある塵が高速で地球の大気とぶつかって光り出す現象です。特に明るい流れ星は”火球”と呼ばれます。そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくることがあります。これが「隕石」です。



<流れ星の”塵”はどこからくるの！？>

流れ星は宇宙の塵だと言いましたが、いったいどこからやってくるのでしょうか？実は、流星群には塵を運んでくる”彗星（ほうき星）”と呼ばれる星が存在します。この彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵が地球の大気に入ってくるためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。

<観察のポイント>

- ◆あきらめずに決めた場所をじっくり観察しましょう！
 - ◆肉眼で一方向を観察しましょう！
 - ◆できれば街灯かりの少ない場所を選んで観察しましょう！
- ※小・中・高校生のみなさんは必ず大人の人と一緒に出かけましょう。